

注意!! 『自転車事故』

梅雨前の過ごしやすい季節となりましたね。

外出する機会が増え、『自転車』を利用する方も多いのではないのでしょうか？

ただ自転車は、手軽で便利な反面、事故に遭うと大けがや死亡するといった危険もあります。

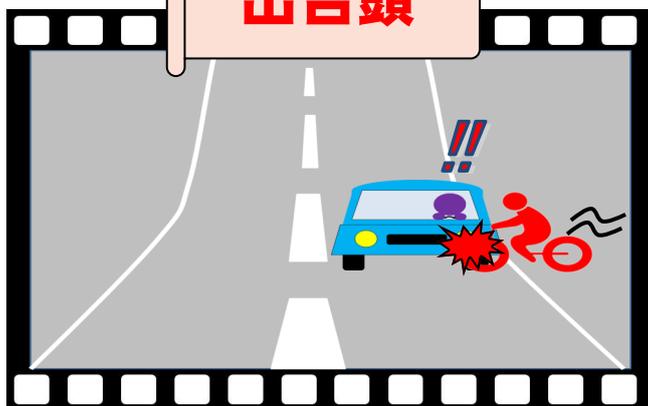
昨年県内で自転車を利用中に亡くなった方は、**13人（出合頭6人、用水路転落5人、田畑への転落1人、その他1人）**ですべて高齢者でした。

また、**昨年5月から8月**までの間に、**8人**の方が自転車利用中に死亡しています。

自転車事故で注意が必要な形態と事故防止のポイントを理解しましょう。

自転車死亡事故の主な形態

出合頭



事故防止のポイント

左右を「ちらっ」とみただけで道路を横断して、もしも車が来ていたら**事故に遭います**。

左右を「よく見て」車の有無を確認!!

事故防止のポイント

- ・薄暗い時間帯や夜間は、道路と用水路の場所の区別がつかなくなるので危険!!
- ・できる限り**用水路が設けられている道**を避けて、自転車を利用しましょう。

用水路転落



「ゆずる・とまる・まもる」

岡山県警察